

## 糖尿病性腎症の悪化予防支援のためのe-learningプログラム

研修目的：糖尿病性腎症2～4期の患者に対する腎症悪化予防支援について、e-learningにより学習を促進し、糖尿病透析予防チームにおける支援の質向上を目指す		
タイトル	内容の項目	時間
<b>I. 診療報酬「糖尿病透析予防指導管理料」の位置づけと課題 講師：数間恵子先生</b>		45分
1. 糖尿病透析予防指導管理料とは	①糖尿病透析予防指導管理料の概要 ②我が国の医療制度と平成24年度改定の趣旨/生活習慣病対策の推進 ③糖尿病関連の診療報酬評価の推移と背景	15分
2. 糖尿病透析予防指導管理料算定における看護の役割	①糖尿病透析予防指導管理料算定における看護の役割 ②チーム医療における看護の役割(6要素)	15分
3. 今後の課題	①糖尿病透析予防指導管理料設定のその後 ②各施設における今後の課題	15分
<b>II. 糖尿病性腎症の病態と治療 講師：四方賢一先生</b>		60分
1. 慢性透析医療の現況・腎臓の構造・病態生理	①透析導入患者の原疾患の推移 ②腎臓の構造と機能 検査 指標	15分
2. 糖尿病性腎症の診断・病期分類・重症化予防	①糖尿病性腎症の早期診断基準 ②糖尿病性腎症の臨床経過 ③糖尿病性腎症病期分類（2023年改訂）/CKD重症度分類（2023年改訂） ④糖尿病性腎症の発症・進展因子	15分
3. 糖尿病性腎症の治療	①糖尿病性腎症の治療 ②糖尿病治療における腎症悪化に伴うリスク （腎機能悪化に関連する糖尿病治療の変更）	15分
4. 糖尿病性腎症の管理・病期に応じた治療	①糖尿病性腎症の管理の目安 ②微量アルブミン尿期（第2期）の治療 ③顕性アルブミン尿期（第3期）の治療 ④GFR 高度低下・末期腎不全期（第4期）の治療 ⑤チーム医療	15分
<b>III. 糖尿病性腎症の食事療法 講師：安原みずほ先生</b>		60分
1. 食事療法の意義および目的	①腎を守るための食の大切さ ②合併症予防と進行の抑制	15分
2. 食事療法の基本的な考え方と糖尿病性腎症の食事	①適正なエネルギー量 ②栄養素のバランス ③規則正しい食習慣 ④高齢者への食事療法の考え方	15分
3. 支援の実際1- 病期に応じたエネルギーコントロール・タンパク制限の考え方-	①病期に応じたエネルギーコントロール・タンパク制限の考え方 ②具体的な支援方法（チーム医療の中で看護職に求めること）	15分
4. 支援の実際2- 病期に応じた塩分制限とカリウム制限の考え方-	①病期に応じた塩分制限とカリウム制限の考え方 ②具体的な支援方法（チーム医療の中で看護職に求めること）	15分

IV. 糖尿病性腎症の運動療法		講師：野村卓生先生	60分
1. 糖尿病性腎症をもつ患者への運動療法の基本と課題	①糖尿病の基本治療としての運動療法の意義と効果 ②運動の実行性に関する課題		15分
2. メディカルチェックと支援上の注意点	①メディカルチェック ②運動療法を支援する上でのリスク管理		15分
3. 運動療法の支援の実際	①運動療法の基本 ②運動の種類、強度、時間、頻度		15分
4. 日常生活における運動療法の実践	①Mets,およびMetsを用いた消費カロリーの計算 ②腎症病期別の適正Mets ③生活の中で目標消費カロリーを達成する例ー腎症3期の場合ー		15分
V. 看護援助のポイント		講師：1-4 平岡めぐみ先生、5-7 小江奈美子先生	105分
1.微量アルブミン尿期（第2期）の支援目標と看護の概要	①微量アルブミン尿期（第2期）の支援目標 ②病期の理解を促し、腎保護へ向けた生活支援 ③微量アルブミン尿期（第2期）の看護支援の特徴について		15分
2.微量アルブミン尿期（第2期）の看護支援	①病期と生活行動との関連について ②セルフモニタリング力を促進するための支援 （検査データ、血糖値、微量アルブミン尿、血圧、体重）		15分
3.顕性アルブミン尿期（第3期）の支援目標と看護の概要	①顕性アルブミン尿期（第3期）の支援目標 ②病期の理解を促し、腎保護へ向けた生活支援 ③顕性アルブミン尿期（第3期）の看護支援の特徴について		15分
4.顕性アルブミン尿期（第3期）の看護支援	①病期と生活行動との関連について ②セルフモニタリング力を促進するための支援 （検査：血糖値、顕性アルブミン尿・タンパク尿、血圧、体重） ③症状管理（症状マネジメント）に向けた支援 （浮腫の見方と相談の大切さ） ④食生活への戸惑いに対する支援（タンパク制限、減塩、K制限）		15分
5.急速な進行を予防するための支援	①腎機能の急速な低下を示す要因とは ②予防するための支援 シックデイ・感染予防（脱水、発熱、胃腸炎、外傷） コロナ・インフルエンザ、尿路感染症、熱中症など ③腎機能に影響を及ぼす薬剤について		15分

6.GFR 高度低下・末期腎不全期（第4期）の支援目標と看護の概要	①GFR 高度低下・末期腎不全期（第4期）の支援目標 ②病期の理解を促し、腎保護へ向けた生活支援 ③GFR 高度低下・末期腎不全期（第4期）の看護支援の特徴について 腎保護のための療養継続への支援 病期の変化に伴った意思決定支援	15分
7.GFR 高度低下・末期腎不全期（第4期）の看護支援	①病期と生活行動との関連について ②セルフモニタリング力を促進するための支援 ③症状管理（症状マネジメント）に向けた支援 （尿毒症症状 起坐呼吸・体重増加） ④腎代替療法の概要と意思決定支援（SDM） ⑤多職種連携（連携体制と社会的支援の情報提供）	15分
<b>VI. 糖尿病性腎症と向き合うことを支える 講師：稲垣 美智子先生</b>		45分
1.腎症・チーム医療における看護の役割6要素	①6要素の必要性 ②6要素の概要 ③向き合う事への支援要素の位置づけと他要素との関係	15分
2.腎症と向き合うための支援 その1.患者が病期を知る事により起こる反応への支援	①患者が病期を知り、覚えおくことの重要性 ②患者にとって「良くない情報（パッドニュース）」の知らせ方 ③腎症各期における支援ポイント	15分
3.腎症と向き合うための支援 その2.腎症と向き合う看護の教育的機能	①真実の伝え方 ②真実と向きあうためのアプローチ法 ③チームで支える	15分